留学報告書

2021 年 11 月 10 日

南山大学長
ロバート・キサラ殿

外国語学部フランス学科教授
茂木良治

下記のとおり、留学の成果をご報告申し上げます。

記

１．留学期間：2020 年 9 月 1 日～2021 年 8 月 31 日

２．受入機関　上智大学国際言語情報研究所（客員所員）

３．研究課題　異文化間能力の育成を目指したフランス語教授法に関する研究

４．報告事項

（１）研究の目的

本研究は、複数の外国語を学ぶ外国語学習者が、異文化間能力の育成を目指した外国語教育を経験することで、どのように異文化に気づき、そして、彼らの異文化間能力がどのように成長するかを文献調査や実践の観察から検討することを目的とする。留学期間中は、複数外国語を学ぶことを通した異文化間能力の育成が盛んに行われているヨーロッパ、特にフランスの事例を中心に分析し、どのように外国語学習者の異文化間能力の育成を促しているか検証した。この効果検証を通して、言語の知識とスキルの習得を超えて、異文化間能力の育成をも含めた外国語学習法および教授法の開発を目指した。

（２）研究活動

計画当初は、異文化間能力の育成を目指した外国語教育の授業実践について参与観察などを通して行うことも検討していたが、留学期間中はコロナ禍であり、海外だけではなく国内の移動も制限がされていたため、当初の計画は諦めざるを得ず、論文や報告書などの文献からヨーロッパにおける異文化間能力の育成を目指した外国語教育の授業実践について調査を行った。具体的には、どのような教材を使用し、どのような指導法

によって異文化間能力の育成を促しているか、そして、どのように異文化間能力の成長を評価しているのか検討した。また、異文化間能力の養成を目指す中で、必要となる言語的知識（語彙・文法）に関する学習活動をどのように取り入れるかについても深く考察することとした。

2020 年 9 月～11 月にかけて、異文化間能力の養成を目指した言語コミュニケーション活動へとつなげるための語彙･文法の学習活動についてこれまで収集したデータをもとに分析をおこない､論文を執筆した｡その論文は日本外国語教育推進機構（JACTFL）の会誌『多言語・複言語教育研究』に投稿し、翌年 3 月に刊行された。

2020 年 12 月以降は主に､異文化間能力の育成を目指した外国語教育の授業実践と評価法について文献や報告書などの資料から検討した｡異文化間能力の評価法について検討する上で、ヨーロッパ言語共通参照枠（CEFR）における評価の観点や、教育学における評価理論などより広い視点で評価について考察することが求められ､評価に関する知見を深めることに努めた。2021 年 7 月には立教大学外国語教育研究センター主催公開シンポジウム｢複言語主義に基づいた大学教育実践への取り組み～仏独西中朝英の教育現場から」に招待パネリストとして、「CEFR から学習評価を考える」というタイトルで研究発表を行い、その成果を発表した。この研究発表の報告は『外国語教育研究ジャーナル』に刊行予定である。

上記の研究活動の成果を踏まえながら､本研究の中心課題である外国語教育における異文化間能力の指導法および評価法について考察を重ね、論文を執筆した。執筆した論文は『アカデミア文学・語学編』第 111 号に刊行される予定である。

留学期間中の研究成果にもとづいて、今後はフランス語運用能力だけではなく、異文化間能力の育成をも目指す授業実践をデザインし､授業実践を通して効果検証を行う予定である。

（3）研究成果

留学期間中に行った研究発表、論文・報告書執筆、学会参加について以下に記す。

＜研究発表＞

・日本フランス語教育学会主催研究イベント　討論『教室の再発見：知識の伝達または共同構築の空間としての教室と Web 会議室』（2021 年 6 月 21 日）
　パネリストとして発表
・立教大学外国語教育研究センター主催　公開シンポジウム｢複言語主義に基づいた大学教育実践への取り組み～仏独西中朝英の教育現場から」（2021 年 7 月 24 日）
　招待パネリストとして発表
　https://fler.rikkyo.ac.jp/feature/Symposium/jc0e3e00000007bw.html

＜論文・報告書執筆＞

・茂木良治、武井由紀、野澤督、松川雄哉、中野茂、菅沼浩子、山田仁「『フランス語の学習指針』に基づく授業実践の評価と検証－語彙・文法学習モデルの効果検証を中心に―」　『多言語・複言語教育研究』第 8 号、pp.89-105.

・茂木良治「CEFR から外国語学習評価を考える」『外国語教育研究ジャーナル』第 2 巻（2021 年度刊行予定）

・茂木良治「外国語教育においてどのように異文化間能力を養成するのか―学習活動と評価法からの考察－」『アカデミア文学・語学編』第 111 号（2021 年度刊行予定）

＜学会参加＞

・第 15 回国際フランス語教授連合（FIPF）世界大会（オンライン大会）
期間：2021 年 7 月 9 日～14 日

・日本外国語教育メディア学会（LET）全国大会（オンライン大会）
期間：2021 年 8 月 20 日～22 日

以上